

# I 運 営 概 要

## 1 沿 革

当センターの業務は、以前衛生部所属の衛生研究所公害研究部で行なわれていたが、公害の増大・深刻化とともに昭和45年10月同公害研究部は発展的に廃止され、県民生活部所属の独立機関として公害センターが設置された。

設置の根拠は、埼玉県行政組織規則に基づくもので、地方機関として設置されている。

当初は、所長（県民生活部長兼務）以下13名の職員編成で大宮市内の旧衛生研究所構内の仮庁舎において業務を開始した。同時に新庁舎建設のため設計作業を進め昭和45年度において実施設計を完了した。

昭和46年度において建設工事を完了、昭和47年5月新庁舎へ移転現在に至っている。

昭和43年11月 衛生研究所内に公害研究部を設置する。

昭和45年10月 衛生研究所公害研究部を廃止、公害センターを設置し、1課1部（2科）を置く。

昭和46年 5月 テレメーター準備室を設置し、1課1部（2科）1室とする。

昭和47年 5月 テレメーター準備室をテレメーター室とし、研究部に第三科を設置、1課1部（3科）1室とする。

昭和48年 7月 研究部を廃止、次長制を採用し、大気騒音部（2科）、水質部（2科）を設置し、1課2部（4科）1室とする。

## 2 庁 舎

(1) 庁舎の設置 浦和市大字上大久保字東639番地1



(2) 庁舎等の概要

敷地面積 1 3.2 0 0  $m^2$

構 造 本 館 鉄筋コンクリート造り4階建

管 理 棟 鉄筋コンクリート造り平屋建  
及び車庫

薬 品 庫 ブロック造り平屋建

建築面積	本 館 延	5,230.33 $m^2$
	内 訳 1階	1,359.04 $m^2$
	2階	1,286.79 $m^2$
	3階	1,195.50 $m^2$
	4階	1,195.50 $m^2$
	塔屋1階	155.25 $m^2$
	塔屋2階	38.25 $m^2$
	管 理 棟 及び車庫	483.80 $m^2$
	薬 品 庫	24.00 $m^2$
	合 計	5,738.13 $m^2$

起 工 昭和46年6月23日

竣 工 昭和47年3月25日

設 計 株式会社 石本建築事務所

監 理 埼玉県土木部管繕課

施 工 株式会社 竹中工務店

大栄電気株式会社

第一工業株式会社

東京ガス株式会社

川崎重工株式会社

株式会社日立製作所

神田通信機株式会社

工 事 費 701,817,210円

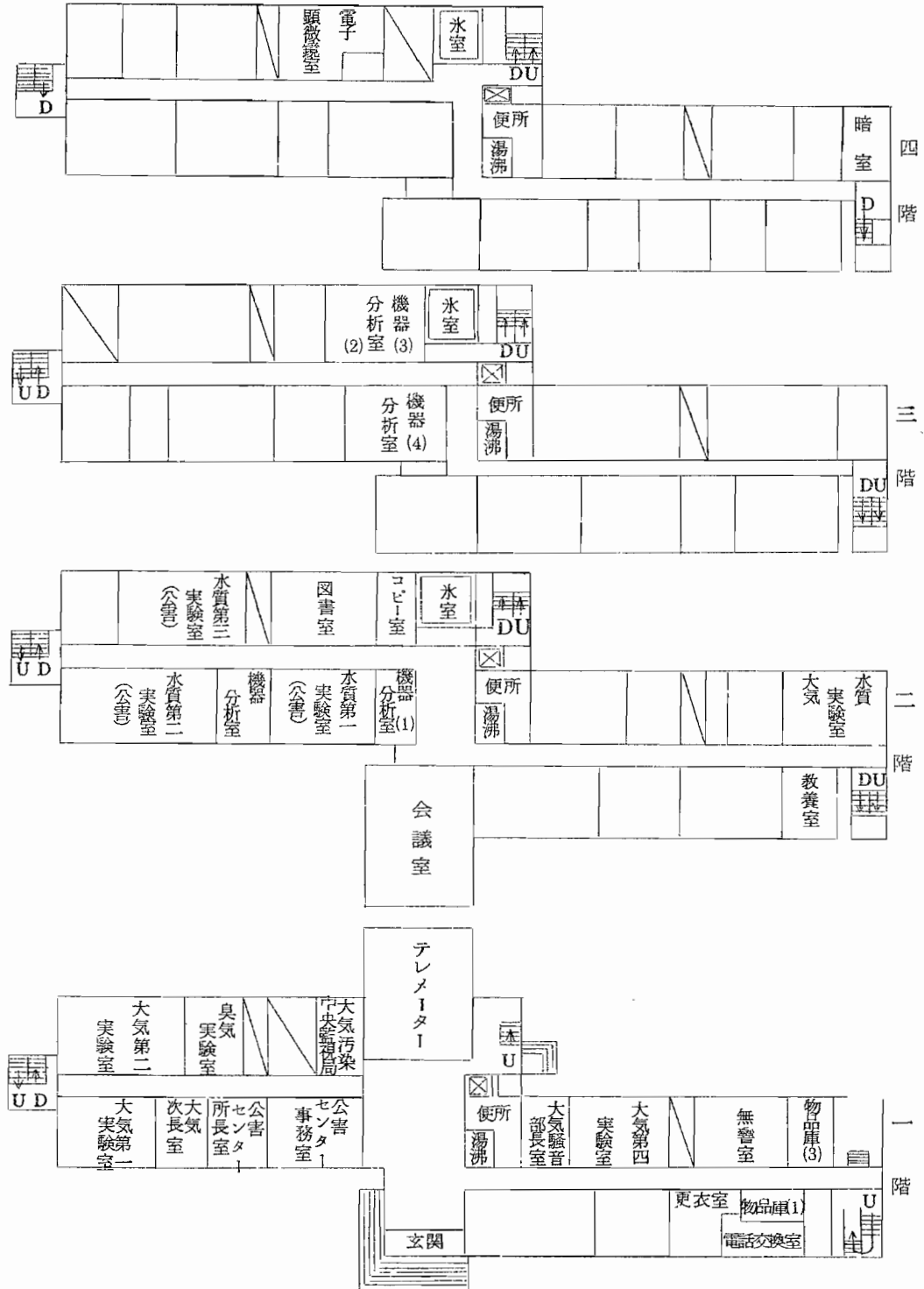
(テレメーター装置の工事費を含む。)

初年設備費 126,000,000円

内 訳 衛生研究所 80,000,000円

公害センター 46,000,000円

庁舎平面図（本館）



### 3 主要機器

1. 大気汚染測定機		セオドライト	1式
大気汚染自動記録	23台	臭気濃縮装置	1式
オキシダント連続測定記録計	17台	排気ガス測定装置	1式
窒素酸化物測定記録装置	16台	硫黄酸化物測定記録装置	3式
全炭化水素測定機	16台	オゾン測定機	2台
一酸化炭素分析装置	6台	振動測定記録装置	1式
紫外線自動測定記録装置	6台	油分分析装置	1式
テレタイプ受信装置	1台	煙道中SO <sub>2</sub> ガス濃度計	1台
デジタル粉塵計	12台		
大気汚染測定車	1台		
		4. 分析機器	
2. 気象測器		重油イオウ量測定装置	1式
気象模写受画装置	1式	分光光度計	1台
微風向風速計	22台	ポーログラフ	1式
自記温湿計	9台	赤外線ガス分析計	2台
		低温灰化装置	1式
3. 測定機器		原子吸光分光光度計	1式
デジタル粉塵自動記録装置	1式	ガスクロマトグラフ	5式
交通量パターン記録計	1台	弗素ガス自動分析装置	1式
炭化水素自動測定装置	2式	蛍光X線分析計	1式
一酸化炭素分析計	1台	水銀分析装置	1式
イオンメーター	1式	酸素ポンプ燃焼装置	1式
データレコーダー	1台	ガスクロ検出器	1個
一酸化炭素自動測定機	2台	試料交換器	1台
オキシダント計	1台	軽油分析機	1式
窒素酸化物測定機	1台	振動分析装置	1式
硫黄酸化物測定機	1台	いおう分析装置	1式
亜硫酸ガス測定機	2台		
デジタル騒音計	1台		
中央値演算装置	1台		



## 5 職 員

### (1) 職員の配置状況

課 科 室		区 分	事 務	技 術	そ の 他	計
所		長		1		1
次		長		1		1
席		務 課	3	1		4
大 気 騒 音 部		部 長		1		1
		第 一 科		8		8
		第 二 科		5(1)	1	6(1)
		小 計		14(1)	1	15(1)
水 質 部		部 長		1		1
		第 一 科	1	6		7
		第 二 科		5(1)	1	6(1)
		小 計	1	12(1)	1	14(1)
テ レ メ ー タ ー 室				4		4
合 計			4	33(2)	2	39(2)

## (2) 職員名簿

部	課室	科	職名	氏名	事務分担	備考	
大気騒音部 (16)	所		長	白沢 忠雄	所内総括	通産省工業技術院公害資源研究所より 46. 3. 1	
	次		長	弓削清一郎	所長補佐	衛生研究所より 45. 10. 1	
	庶務課 (4)		庶務課長		渡辺 鉄雄	課内総括・予算	公害課より 45. 10. 1
			主任		松崎 秀夫	経理・福利厚生	砂利採取事業所より 45. 11. 1
			主任		斉藤 勇	自動車管理・運転	春日部専修より職業訓練校より 47. 5. 1
			主事		上田 文子	庶務・経理	行田保健所より 46. 10. 1
		大気騒音部長		川瀬 善一	部内総括	衛生研究所より 45. 10. 1	
	第1課 (8)		第1科長		北野 拓	科内総括	" 45. 10. 1
			技師		昆野 信也	自動車排ガス・悪臭・光化学物質検査・研究	新規採用 47. 4. 1
			技師		新井 妥子	"	" 47. 4. 1
			技師		松岡 達郎	騒音・振動試験	" 47. 4. 1
			技師		小島 晴美	自動車排ガス・悪臭・光化学物質検査・研究	公害規制課より 47. 5. 1
			技師		横関 博美	騒音・振動試験	新規採用 48. 4. 1
			技師		金子 安夫	自動車排ガス・悪臭・光化学物質検査・研究	" 48. 4. 1
			技師		野辺 博	"	" 48. 4. 1
	第2科 (7)		第2科長 (兼)		川瀬 善一	科内総括	
			主任		新井 真杉	大気汚染検査・研究	農業試験所より 46. 10. 1
			技師		水上 和子	"	衛生研究所より 45. 10. 1
			技師		竹井 利勝	"	新規採用 45. 11. 1
			技師		吉田 康夫	"	" 46. 4. 1
		技師		長田 泰宣	"	" 48. 4. 1	
		技師		長島藤太郎	大気汚染検査・研究補助	東北自動車道用地より 46. 5. 1	
	水質部長		和田 雅人	部内総括	衛生研究所より 45. 10. 1		

部	課室	職名	氏名	事務分担	備考
水質部 (15)	第1科 (7)	第1科長	村岡 一郎	科内総括	飼肥料検査所より 46. 5. 1
		技 師	渋谷 武一	河川水・水質検査・研究	農業試験場より 46. 5. 1
		技 師	須貝 敏英	"	朝霞保健所より 47. 5. 1
		技 師	大湖 康彦	"	新規採用 46. 5. 1
		技 師	早船 健司	"	" 48. 4. 1
		技 師	小川原妙子	"	" 48. 4. 1
		主事補	木村 久夫	"	" 48. 4. 1
	第2科 (7)	第2科長 (兼)	和田 雅人	科内総括	
		主 任	中村 雅隆	工場排水水質検査・研究	蚕業試験所より 45. 10. 1
		技 師	伊藤誠一郎	"	衛生研究所より 45. 10. 1
		技 師	谷口 通朗	"	新規採用 46. 4. 1
		技 師	山口 明男	"	" 47. 11. 1
		技 師	植野 裕	"	" 48. 4. 1
		技 師	吉原ふみ子	工場排水水質検査・研究 補助	衛生研究所より 45. 10. 1
	テレメー ター室 (4)	テレメー ター室 長	茂木 正一	室内総括	通産省工業技術院公害 技術研究所より 46. 5. 1
		技 師	今関 鎮徳	テレメーター解析・研究	静岡県公害課より 46. 11. 1
		技 師	五井 邦宏	"	新規採用 47. 8. 1
		技 師	湯沢 修二	"	" 48. 4. 1



職員の転出及び退職者

5. 1  
5. 1  
5. 1  
5. 1  
4. 1  
4. 1  
4. 1  
  
10. 1  
10. 1  
4. 1  
  
11. 1  
4. 1  
  
10. 1  
5. 1  
11. 1  
8. 1  
4. 1

区 分	職 名	氏 名	転 出 先	転 退 職 年 月 日	備 考
退 職	主事補	秋 葉 敏 男		46. 4. 30	
"	"	杉 山 照 子		46. 7. 31	
"	"	間 瀬 中 子		46. 8. 31	
転 出	技 師	村 田 俊 夫	衛生研究所	47. 5. 1	
"	技 師	為ヶ井 晴 一	春日部消費生活センター	47. 5. 1	
退 職	技 師	菊 地 真知子		47. 6. 30	
転 出	技 師	山 田 文 子	大宮保健所	48. 11. 1	

6 予 算

(1) 歳 入

款 項	目	節	予 算 額		
			昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度
使用料及び 手数料			725,000 <sup>円</sup>	410,000 <sup>円</sup>	432,000 <sup>円</sup>
手 数 料			725,000	410,000	432,000
	衛生手数料		725,000		
		公衆衛生手数料	725,000		
	総務手数料			410,000	432,000
		県民生活手数料		410,000	432,000

(2) 歳 出

款 項	目	節	予 算 額		
			昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度
総 務 費			2,949,589 <sup>円</sup>	8,764,167 <sup>円</sup>	3,625,709 <sup>円</sup>
総務管理費			865,795	1,012,667	656,089
	一般管理費		818,295	905,967	114,645
		報 酬		218,000	
		賃 金		600,000	
		旅 費	192,295	87,967	14,645
		需 用 費	554,000		100,000
		役 務 費	72,000		
		使用料及び 賃借料			
	人事管理費			35,700	
		旅 費		7,200	
		負担金補助 及び交付金		28,500	
	財産管理費		47,500	71,000	541,444
		需 用 費		71,000	
		役 務 費			160,600
		工事請負費	37,000		

5  
 5  
 5  
 0  
 4  
 0

款 項	目	節	予 算 額		
			昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度
		投資及び出資金	10,500 <sup>円</sup>		380,844 <sup>円</sup>
企 画 費				221,000	1,504,500
	計 画 調 査 費			221,000	1,504,500
		賃 金		41,000	56,000
		旅 費		37,000	72,500
		需 用 費		143,000	906,000
		委 託 料			470,000
県民生活費			1,705,794	7,601,500	34,096,506
	県民生活総務費		663,794	32,000	100,000
		共 済 費		2,000	
		賃 金	328,794		
		需 用 費	300,000		100,000
		役 務 費	35,000		
		使 用 料 及 び 借 料		30,000	
	公 害 対 策 費		1,402,000	7,569,500	33,996,506
		賃 金	60,000		
		報 償 費	50,000		90,000
		旅 費	400,000	1,203,000	1,193,006
		需 用 費	780,000	4,706,000	9,909,000
		役 務 費	36,000	348,000	1,189,000
		委 託 料		1,005,000	19,105,000
		使 用 料 及 び 借 料		90,000	870,000
		工 事 請 負 費		57,500	1,420,000
		備 品 購 入 費	76,000	160,000	220,000
		負 担 金 補 助 金 及 び 交 付 金			13,000
		公 課 費			7,500